

第13回 まち探検隊 4月11日（良く晴れた日）

==薩摩街道・筑後小郡・松崎の宿場町跡巡り==



・コース：1 上岩田遺跡⇒2 瑞松山霊鷲禅寺⇒3 北構口⇒4 松崎宿歴史資料館⇒5 南構口⇒6 松崎城址⇒7 桜の馬場⇒8 松崎天満稲荷神社⇒9 御茶屋跡⇒10 旅籠油屋 ⇒ 昼食：解散 参加者：24名（会員高木保幸）

**あじさいまつり****高良山：御井町**

6月14日 高良山中腹「旧宮司邸」
「あじさい祭り」が行われました。

約4000株のあじさいが見頃をむかえ、
民謡、和太鼓演奏・タヒチアンダンス etc
楽しい催しや、そうめん流し
・おにぎり・焼きそば等の販売もあり
たくさんのお客で賑わいました。
(会員 中丸哲子)

**会行事には、会員や地域の皆さま
の参加をお待ちしています。**

2015年 貴方は認知症予防を知っていますか？

スーパーシニアの勉強会

7月以降、下記のカリキュラムを予定

第4回：7月11日「仮題：ホームレスの自立支援 若い中国人留学生が見た日本」
：李曉鵬（リーシャオポン）：福祉を学ぶ留学生：久留米大学院生）

第5回：8月未定 社外の講師として福祉施設から報告
：時事問題で話が出来る人、を人選中
.....

シリーズ・スーパーシニアの勉強会、既に終了済み講座

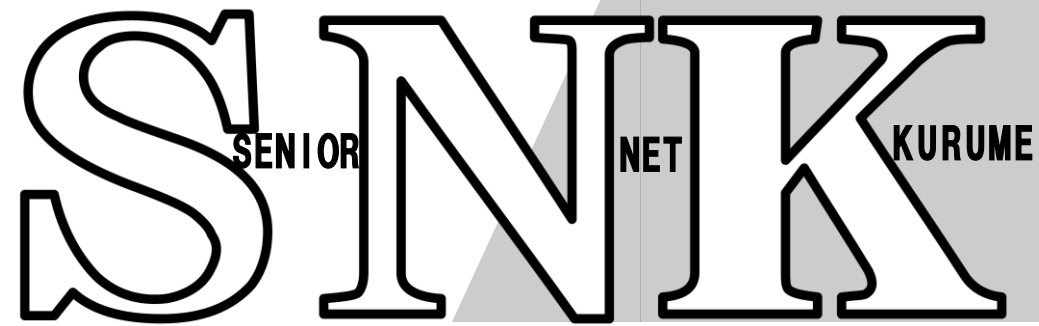
第1回：4月11日「認知症予防の5年間の10大実践報告」江上憲一講師（会員）

第2回：5月9日「遺言の話」日野眞郷講師（会員）

第3回：6月13日「介護難民の時代を生きる方法」保坂恵美子講師（会員）

会場：御井町府中公民館
(SNK講座室)
会費：500円（資料代込み）
申込：Tel 0942-65-4545
e-mail: snkpost@view.ocn.ne.jp

(あとがき)カブト虫の幼虫をもって
田舎の小学校を訪ねる。子どもが少
くなった小学校では、春の運動会の
練習で生徒全員が運動場で競技の練
習中だった。真っ白の体操服がまぶ
しく見える。クラスの定員が40名を
切り少子化は進む、先生たちも落ち
こぼれを出さないよう頑張る。(式)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市御井町 387
TEL 0942-65-4545

教育支援（カブト虫配布活動）について 理事長 小島紀夫

本年度は、NPO法人として第15期になり、今月で3か月が経過しました。

教育支援活動は平成19年度から始まり9年目になります。内容は囲碁・将棋、算数の授業の補助支援を会員の皆様のご協力で継続して来ましたが、御井町移転を機に本年度から内容を再検討します。



腐葉土の中で生長するカブト虫の幼虫をこわごわと触る小学生（下広川小）

3年前から教育支援の一環として「カブト虫の配布活動」を京町小、荘島小、南薫小の3校で開始して以来、昨年は津福小、今年は上津小、下広川小が加わり合計6校の小学校になりました。

SNKでは、しゅん（野田俊市）さんを中心に有志が10年以上前から集まり、竹林の保護の為、竹林の間伐を伐採し、その竹を粉碎し腐葉土を作り農園で野菜作りに利用して来しました。

夏の終わり頃、その腐葉土にカブト虫が産卵し、孵化した幼虫が粉碎した竹の腐葉土を餌にして生育します。その幼虫を翌春に小学校に配布して来しました。カブト虫は孵化した幼虫がサナギとなり、合計で4回の脱皮を繰り返して羽化して成虫のカブト虫になります。平年だと6月初旬から中旬にかけてサナギ化しますが、今年は冬が温暖だった為に、5月中旬にはかなりの数のサナギ化がみられました。幼虫の時は自力で動き回ったり食べ物を食べたり出来ますが、サナギになる前にサナギ室を作りその中に入ると動かなくなります。この状態で動かすと大部分が死にます。従って、配布の時期を早めざるを得ませんでした。

配布の方法は、2ℓのペットボトルに腐葉土と幼虫を入れて渡します。最初は当方で事前に入れて渡していましたが、より親近感を抱かせる為に、昨年からは子供たちにペットボトルに詰める作業をさせるようにしています。怖くて幼虫に手を触れない子供がいることは想像していましたが、驚いたことに腐葉土に触れない子供が男女数人はいました。

シニアの皆さんの子供時代は、遊びの場所は野山や海や川の自然界が主だったでしょうが、最近の子供たちは、自然と触れ合う機会が激減しているようです。昆虫（カブト虫）を幼虫から飼育し観察することで、生き物の神秘性や生き物への愛情を持つことは子供の成長の過程で大切なことです。

自然は最高の教師です。今後も出来る限り学校数を増やしながら継続したいと思います。改めて「カブト虫配布隊」（隊長 島井理事）を募集しますので、奮って参加して下さい。

特 ともだちの輪 集 ネットワーク

子どもたちへ

自然に学ぶ、田舎は生命がいっぱい

SNK農園事業部では野菜作りやカブトムシを育てる活動を行っている。遊休農地・竹林を整備・開墾して野菜づくりなどを楽しむグループです。自分の野菜作りをするだけでなく、幼稚園児などにジャガイモやサツマイモ掘りを体験させたり、竹林整備などで出る伐採材をチップ化し、腐葉土を作ったり、腐葉土を使ってカブトムシに卵を産ませ、その幼虫を小学校に提供するなどの活動を行っています。（理事 島井新一郎）

課外授業 plan-do-see-action カブトムシを育てる

私は生まれも育ちも広川です、下広川小学校は私の育った母校です。シニアネット久留米の活動で、農園と竹林を担当していますがこれがたまたま地元での活動となっています。そして農作業の中で副産物としてカブトムシが現れました。堆肥の中で幼虫がたくさん育っていたのです。そこでこれを子どもたちに育てさせてはどうかという話から、小学校への配布が始まりました。今年で 3 年目となります。最初は久留米市内の小学校からでしたが、今回初めて自分や子供の出身校である下広川小学校へも配布することとなりました。今の時代カブトムシを採る子はいても幼虫を見たこともない子が多いのではないかなと思ったわけです。案の定、幼虫に触れない子がたくさんいて驚きました。

カブトムシの生育を通して豊かな自然に囲まれたふるさとへの愛着をもった子どもが一人でも多く育ってくれば、それが自分のふるさとへの恩返しになると思っています。

SNK会員 しゅん(野田俊市)



↓運動会の練習、←カブトムシの話を聞く2年生（中央がしゅんさん）、↑幼虫と子ども、しゅんさん→

「しゅんさん e-mail 日記：カブトムシを育てる」より
ジャガイモオーナー（会員）から感謝 mail がきています。
(★ここも読んでください、) ↓

- ☆6日 土曜日の午後から、一条農園でカブトムシの幼虫をコンテナに入れ替えます。別の場所のぶんは、モグラに食べられて12匹しかいませんでしたけど。お手伝いのできる方はよろしくお願いします
- ☆9日 第1回の作業で300匹以上の幼虫を捕獲できました。次回を次の土曜日17日の午後から行います。場所は幼虫を保管しておくコンテナ車があるところです。ちょっと心配事ですが、捕獲した幼虫を入れておいたコンテナを屋外においてたんですが、今日の冷え込みで死なないやろか、と言う疑問です。さっき、ブルーシートをかけに行きました・・・さぶー！
- ☆7日 午前10時より一条農園にてチップ作業を行います。例年でしたら、竹林で行っていましたが、私の体調不良にて、竹林まで手が回りませんでした。では、よろしくお願いします
- ☆13日 府中公民館の一角にカブトムシの産卵場を作ることになりました。日曜日の10時くらいに現場に搬入し作業をおこないます。一輪車での運搬作業などありますのでお手伝いのできる方は、よろしくお願いします。
- ☆15日 カブトムシ教室用の数は
南薫小 150 下広川小 50 京町小 100 津福小 100
確保数が530くらいなので130はペットボトルに入れておきます。サナギになりかけたら、移動は無理なので予備のためにとっておきます。なお、ペットボトルの残量は600本ほどあります。

ようこそ、先輩

課外授業で子どもたちは良い顔となりました。ブヨブヨとした幼虫に手で触れ、その余韻をいつまでもキャーキャー楽しんでカブトムシを育てる「生命の尊さ」を学んでいました。腐葉土や幼虫の準備なども含めて「先輩有難うございます」、子どもたちの声が聞こえます。下広川小学校長 樋口重治



- ★31日 農縁倶楽部の皆様
午後ジャガイモ掘りに行きました。親子3代、8人で30分ほどで掘り終えました。3人の孫たちは大はしゃぎでした。昨年に比べかなり立派な芋が多かった様に思います。これも皆様のお手入れのおかげでしょう。ありがとうございました。
国分幼稚園（娘が？10年前に園児でした）の芋ほり、80人が来たら大賑わいだろうなあと思っていました。（会員 佐野利彦）

お問い合わせはコチラ

TEL でのお問い合わせは
0942-37-1345

久光株式会社 ヒサミツセンター

ホーム 会社案内 事業

財団法人 久留米中央霊園

水と緑のメモリアルパーク
風情を野々一望する、豊かな自然に
抱かれた静寂と安らぎの地。

この指とまれ、あなたと話そう、あなたと遊ぼう、みんなが集まる世界をつくろう